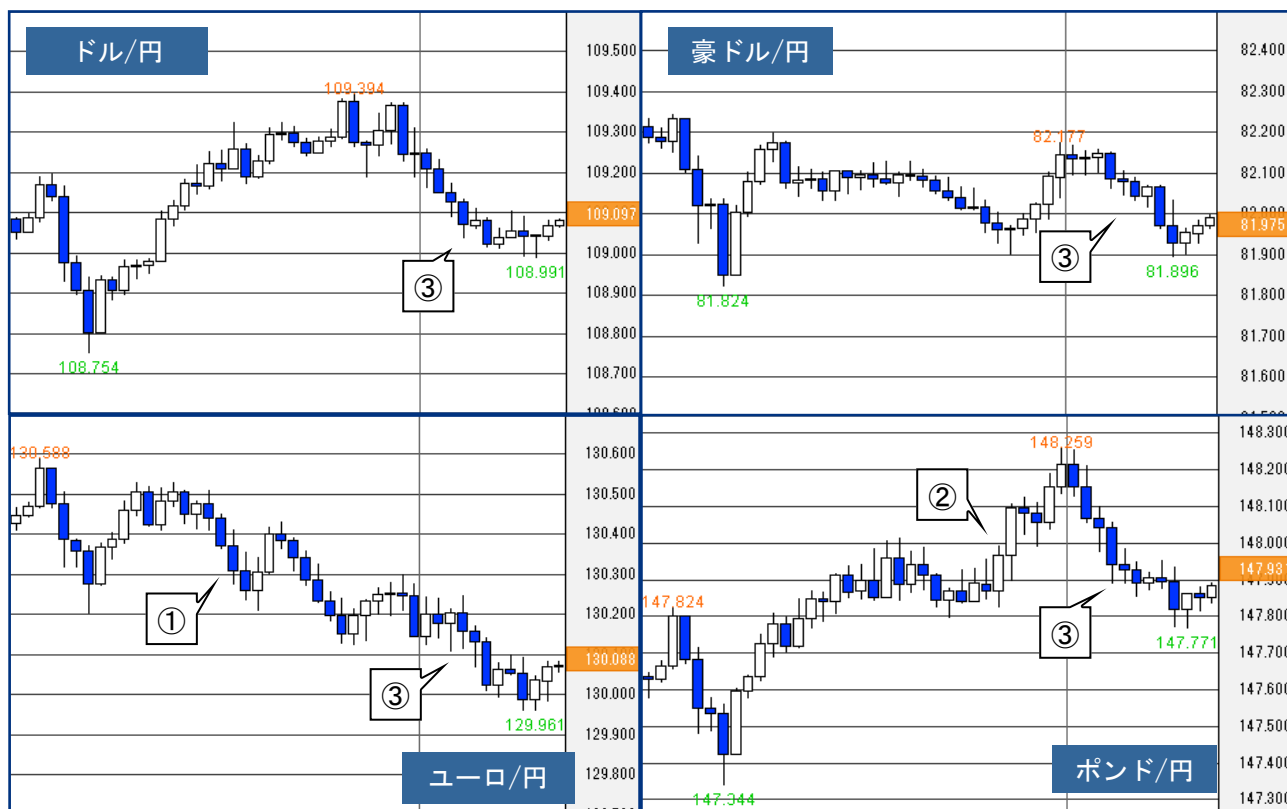


5月8日(火)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

イランよりパウエル講演

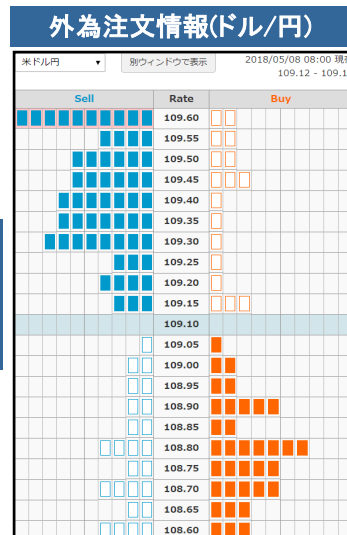
7日(月)の為替相場



期間：7日(月)午前7時00分～8日(火)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 独3月製造業受注は前月比-0.9%となり、市場予想(+0.5%)に反して3カ月連続の減少を記録。これを受けてユーロが売られた。
- ② 「武田薬品工業はアイルランド製薬大手シャイアーの買収で合意に近付いている」と報じられた事で買収資金フローへの思惑が強まり、ポンド買い・円売りが優勢となった。なお、両社は4月に460億ポンドでの買収に暫定合意しており、8日にも正式に発表される模様。
- ③ 米国株が引けにかけて上げ幅を縮小すると、ドル/円やクロス円は弱含んだ。トランプ米大統領が、米国がイラン核合意に残留するかどうかについて8日14時(日本時間9日午前3時)に発表するとツイッターで明らかにした事を受けて離脱への警戒感が広がった模様。

7日(月)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22467.16 ▼5.62	6084.473 △21.580	3136.645 △45.612	休場	12948.14 △128.54
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24357.32 △94.81	0.0450% ±0.0000	2.755% ▼0.015	休場	0.532% ▼0.012
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.4970% △0.0001	2.9497% ±0.0000	70.73 △1.01	1314.10 ▼0.60	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	108.600-109.800	129.400-130.700	81.500-82.500	147.100-148.600

【ドル/円】

昨日のドル/円は、決め手に乏しく109円ちょうどを挟んでもみ合った。5月に入り上昇が一服しており、相場は方向感を定めあぐねているようだ。本日はトランプ米大統領が発表するイラン核合意からの離脱の是非に関する判断に注目が集まっている。仮に離脱を発表すれば、リスク回避の動きが強まり円が買われる可能性もあろう。とはいえ、中東絡みの政治ネタが為替相場の主要テーマになったケースはほとんどない。残留でも離脱でもドル/円相場への影響は一過性にとどまるだろう。一方、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長は、スイス中銀と国際通貨基金(IMF)が主催するイベントで討論会に出席する。演目は「金融政策が世界の金融情勢および国際資本フローに及ぼす影響」である。イラン核合意よりもこちらの内容に注目したい。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
5/8(火)	10:30	○	(豪) 3月小売売上高(前月比)	+0.6%	+0.2%
	未定	○	(中国) 4月貿易収支	-49.8億USD	+277.5億USD
	15:00		(独) 3月鉱工業生産(前月比)	-1.6%	+0.8%
	15:00		(独) 3月貿易収支	+185億EUR	+225億EUR
	15:00		(独) 3月経常収支	+207億EUR	+270億EUR
	16:15	◎	(米) パウエルFRB議長、講演	-	-
	23:00		(ユーロ圏) リーカネン・フィンランド中銀総裁、講演	-	-
	26:00		(米) 3年債入札(310億ドル)	-	-
	27:00	◎	(米) トランプ大統領、イラン核合意に関する判断発表	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。